



瑞浪市青少年育成市民会議だより

第8号

笑顔あふれるみずなみ

「みとめて ほめて ほげまして」 みんなの力で健やかに

〔発行〕 瑞浪市青少年育成市民会議
瑞浪市教育委員会社会教育課
TEL 68-5281 (総合文化センター内)

〔編集〕 瑞浪市青少年育成市民会議
広報部

第2回瑞浪市青少年育成市民会議総会



稲津陸上スポーツ少年団



陶剣道スポーツ少年団



美濃源氏大太鼓保存会子ども教室



釜戸町青少年育成町民会議

◇第2回瑞浪市青少年育成市民会議

平成28年2月14日(日)

青少年育成に貢献された方への表彰状・感謝状の贈呈、青少年活動団体、モデル地区の実践発表が行われました。スポーツ・和太鼓の技術指導を通して、向上心、礼儀作法、チームワーク等が培われたという報告がありました。また釜戸町の発表では、会場に中学生が登場し、具体的な実践を紹介する場面もありました。

【受賞者の紹介】

表彰状：大内登志希（大湫町）、奥村裕平（釜戸町）、中京高等学校生徒会

感謝状：酒井徳孝（釜戸町）、小倉博（土岐町）、伊藤道明（明世町）、伊藤卓男（明世町）、伊藤百合子（明世町）、土屋清五（日吉町）、今町多香子（日吉町）

〔敬称略〕

※歳末助け合い募金活動、地域の公園の草刈りボランティア、夜間の見回り活動、和太鼓や卓球指導など、多岐にわたり継続してご尽力いただきました。

フレッシュトーク in 瑞浪

4年目を迎えた「フレッシュトークin瑞浪」。今年のテーマは「ふるさと“瑞浪”を語る」です。“瑞浪”の魅力や課題、将来への展望などについて若者と大人が伸び伸びと意見交換をしました。今回は初めて高校生が司会をしました。瑞浪の自然を生かした公園の整備や、移住者増加のための取組、交通の便の改善など、高校生から多くのアイデアが出されました。また、教師や臨床検査技師を目指すなど、将来の夢を力強く語る姿が印象的でした。意見交流の場を設けることは、大人と高校生のよりよい関係を築くことにつながります。若者たちがさまざまな人と築いた関係が、瑞浪への愛着や誇りとなり、未来のまちづくりへと結びついていくのではないのでしょうか。高校生は「まわりの人が司会をサポートしてくれるので、話しやすかった」「自分が知らない瑞浪を知る機会になった」との感想を持っていました。（「広報みずなみ 28・1・1」より）

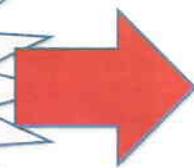


まずはゲームで楽しく！

「後出しジャンケン」「肩たたきゲーム」

「しりとり自己紹介」

**大好き！
瑞浪**



○豊かな自然です。(山のある町、川のある町)
災害も少なく治安も良いと思います。

○歴史・伝統を感じます。(中山道の宿場町、
美濃歌舞伎)

○市民の人柄の良さ、地域のつながりの良さを感じます。(他市からの通学生)…挨拶〔行ってらっしゃい・お帰りなさい〕を交わす、お祭りや文化祭で互いに協力し合う…

○サイエンスワールド、化石、きなあた瑞浪。
他にもゴルフや陶器で有名だと思います。

○バサラ瑞浪に学校単位で参加しています。踊ったり、企画に参加したりして楽しくやっています。(高校生)

○住むにはいい所ですねえ。(子育てもしやすいし、車があれば、多治見、名古屋、豊田にも出かけやすい)

※中学生以下の医療費無料、学童保育…



～高校生と語る会～

ここが問題！

- 大型ショッピングモール・映画館など、若者が集まる場所、遊べる場所が欲しいなあ。
- 駅前がさびれて活気がなく、さみしく思います。(少子高齢化→消滅可能性都市?)
- バスの本数が少ないので、車のない若者には不便ですよ。(お年寄りもそうだと思う。)
- 市街から少し離れるだけで、街灯が少なく、暗くて心細いです。(もっと明るくしてください。)
- 瑞浪駅に降りても、名所がさっと分かる看板がないので残念です。
- 大手の企業への就職を考えているので、都会に出ようと考えています。(地元にもっと就職口があるとよい。)



そこで提言！

- 瑞浪の魅力を発掘・発信して、将来、若者が戻ってきたいと思えるまちづくりをしよう。
- 長期計画で“瑞浪の売り”をつくろう。(吉野の桜・香嵐溪の紅葉・瑞浪の〇〇)
- 山を生かして、市営の公園やオートキャンプ場を作り、若い人を呼び込もう。(温泉・食堂…)
- 看板、ちらし、インターネット等を利用し、積極的に観光資源の情報発信をしよう。(瑞浪出身の芸能人を観光大使に) ※バスラ、中山道、屏風山登山、城跡めぐり、陶磁器…
- 街灯を増やし、明るい町にしよう。駅前の活性化を図ろう。
- バス路線を充実させ、車のない人(若者・お年寄り)の交通の便を図ろう。
- ボランティア募集の情報を若者(中・高校生)に活躍の場を与えよう。



町民会議の活動紹介

◆釜戸町青少年育成町民会議

町民会議全ての構成員の願いは、釜戸の子どもたちに笑顔が広がることです。町民会議を構成する三部会、「教育部会」は生活環境を整え、学習に集中できる環境づくりに、「環境指導部会」は子どもたちの安全確保に、「地域推進部会」は多年代間の交流や地域行事への参加促進に精力的に取り組みました。

平成31年度の中学校統合により、子どもたちと地域との関わり合いが今以上に希薄になることが懸念されています。新しい中学校へ進学した後も地域と関わり合いがもてるように、中学生による自主ボランティア組織「釜戸校区ボランティア連合」が立ち上がり、夏まつりや文化祭の運営に参加したほか、園児から大人までが太鼓集団を結成し、多年代の交流を図る取組も始まりました。今後も町内行事や郷土文化に触れる機会への積極的な参加を呼びかけ、それぞれが地域を構成する一員であるという自覚を育てることを目的に、青少年育成に取り組んでいきます。



◆日吉町青少年育成町民会議



日吉町青少年育成町民会議では、青少年部会の活動の中で「夏祭り」と「文化祭」の際、日吉中学校の生徒がボランティアとして参加しています。今年度は、夏祭りに22人、文化祭に31人が参加し、会場準備、司会進行、バザーの手伝い、後片付けと、大人に交じって活動しました。ぎこちないながらも一生懸命働く姿は、町民の皆様にも好評でした。

◆大湫町青少年育成町民会議

昨年度の市民会議のモデル地区発表を契機に、若者の町の行事への参加機会が増えてきました。本年は県青少年健全育成県民大会に於いて若者リーダーである渡邊徹太郎君が、青少年の部で青少年団体顕彰の表彰を受けました。また、本年は中学生の参加も加わり、町の文化祭でも司会進行役や収穫祭のお手伝いを積極的に行ってくれました。

今後とも、若者が町の各行事に参加して盛り上げてくれることを望んでいます。



◆稲津町青少年育成町民会議



町民会議で活動方針を再確認し、それぞれ三部会の連帯を深めながら地域の青少年活動の推進にあたりました。花いっぱい事業、あいさつ運動、特に公民館、まちづくり推進協議会と連携してのふれあい映画会、町民夏祭、町民運動会では中学生のボランティアの参加も多く、準備から後片付けまで協力して行い地域の人々との交流もできたと思います。来季は稲津中学校の名は無くなりますが合併を機にますます多くの中学生（高校生）ボランティアの参加を期待します。

◆瑞浪地区青少年育成町民会議



今年度瑞浪地区は、青少年のボランティア活動の推進を目指し、「情報の橋渡し」に力を入れ、次の4点を共通理解して実践を進めてきました。

1. 各区輩出の青少年育成委員さんからそれぞれ行事情報を提出してもらう。
2. 各教頭先生やPTA会長の方と一緒に内容を確認。
3. 中学生にはボランティアでお手伝い参加。
4. 小学生は行事参加。(中学生のお兄さんお姉さんの後ろ姿を見てもらう)。

※学校では体験できないような行事のお手伝いを通して、社会の仕組みやルールも身をもって感じ取ってもらえたらと願うのと同時に、地域の活動はいろいろな人たちと一緒に作り上げるということを大人も子どもも共に学べたらと願い、始めました。夏行事では2地区、秋行事では4地区並びに当市民会議環境改善部会の駅前路面清掃『無ガム中』大作戦(写真参照)では8名の中学生ボランティアに参加をいただきました。岐阜放送で取材放映されたのは記憶に新しいところです。まだほんの小さな歩みですが、豊かな子どもたちを育む場につくり上げていきたいと思ひます。どうぞこれからもご支援いただきますよう心よりお願い申し上げます。

◆陶町青少年育成町民会議

陶町青少年育成町民会議では、三部会を中心として、地域・家庭・学校が一つになって青少年育成活動に取り組んでいます。特に今年度は陶中学校の閉校に伴い、「陶町連合区」、「陶町明日に向けて街づくり推進協議会」、「陶中学校の生徒」等、町全体で協力し合い、「あ・うんコンサート」を始めとする各イベントなどを行っています。こうした町民一丸となって行う活動を通じて、陶町の青少年の健全育成を行っています。



◆明世学区青少年育成町民会議



今年度で3回目となる『中学生と語る会』を11月28日(土)に行いました。過去2回の『中学生と語る会』は、テーマを決めての討論会形式でしたが、今回は、過去のアンケートを参考に、中学生の皆さんの要望を取り入れ、地元にある化石山地下壕の見学を行いました。普段は立ち入り禁止となっているので、参加してくれた中学生17名全員が、初めての体験となりました。そしてケーキを食べながらのフリートーク、まちづくり青少年育成委員会“音を楽しもう会”の皆さんのギターに合わせて参加者全員での合唱と、あっという間に時間が過ぎてしまいました。日頃ふれあいの少ない中学生と地域の皆さんですが、楽しい時を共に過ごし交流を深めることができました。

◆土岐地区青少年育成町民会議

2月18日(木)、「ガヤガヤ会議」を開きました。学校関係者、区長会、青少年育成委員、民生児童委員など地域の各代表が集まって、子どもたちのことについてざっくばらんに話し合う会です。ケータイ・ネットの問題では、「わが家のプラス1ルール」の交流を通して、まず親が手本を示すべきとの意見が多く出されました。また、市で開催した「高校生と語る会」を参考に、次年度は「中学生と語る会」を企画し、世代の違いを乗り越えた交流の場をもとうという案が承認されました。



◆夏季特別街頭指導（夜間）

7月14日（日）から9月13日（日）までの期間に全30日間、延べ191名の方のお世話になりました。ありがとうございました。

〔初めて参加した方の感想より〕

- 大人と子どもの居たい場所が違うということが勉強になった。瑞浪の町の治安はよい。
- たくさんの方が瑞浪を見守ってくださることを初めて知った。もっと幅広く多くの人にこの運動に関わっていただけるとよいと思った。
- 公園で高校生4人が食べ物を食べながら話し合っていたが、声掛けをしたら素直な返事が返ってきた。



駅の周辺から土岐川の堤防沿いに、そして市役所、バロー中央店から交番に向かうコースを歩きます。ごみ拾いも兼ねて若者への声掛け活動を続けています。

「瑞浪市ケータイ・ゲーム機・ネットに関する家庭のルール」実践紹介

（今回は学校・PTAの具体的な取組を紹介します。）

- ・情報モラルに関する講演会を実施した。
- ・中学校の期末テスト取組期間と合わせて、小中合同で「親子で学ぶ週間」として、ノーテレビ、ノーゲーム、ノーパソコンを実施した。
- ・町民会議とPTAが連携して、パンフレットを作製した。
- ・県教育委員会が推進する「話そう、語ろう！わが家の約束」運動、実践カードに取り組んだ。
- ・幼小中一貫教育推進協議会で、年間3回の家庭教育習慣を位置付け、テレビやゲームの時間を30分以内にするよう働きかけた。
- ・家庭で話し合ってルールを決め、実践し、学級懇談会等で交流した。

※「親と子が同じ目標に向かって取り組めた。」「家族の関わりが増え、一体感が感じられた。」という声が寄せられました。

反面「ネットトラブルにあった生徒、ネット依存的な生徒がいる。」「約束はあっても、その確認ができなく、守れていない家庭もある。」という問題点も指摘されています。



☆平成28年度 主な年間行事予定☆

- ・ 5月22日（日） 第1回青少年育成市民会議
- ・ 6月19日（日） 瑞浪市主張大会
- ・ 11月27日（日） 高校生と語る会
- ・ 2月19日（日） 第2回青少年育成市民会議

☆編集後記☆

ケータイ・インターネット問題については、「家庭教育部会」での意見交流会、「環境改善部会」主催の講演会、市P連との連携など、取組が一步前進しました。今年度の成果と課題を次年度につなげていきたいと思ひます。